施工説明書

2013.9

TOTO

洗面所用シングルレバー混合栓

TLHG31-1F型・TLHG31AF型
TLHG31DEF型・TLHG31DF3型
TLHG31EF型・TLHG31F5型
TL431型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

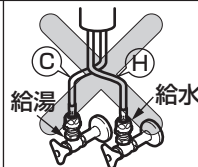
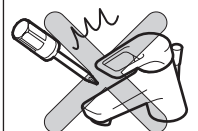
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

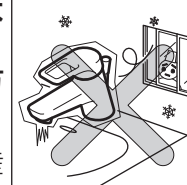
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意味
	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

	内容	図
 禁　止	**湯水を逆に配管しない** 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
 分解禁止	**この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない** 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 警　告

	内容	図
 禁　止	寒冷地用 **水抜コックは水抜き以外の目的で開けない** 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

	内容	図
 禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	押しボタンに強い力や衝撃を与えたり、引っ張ったりしない 作動不良・故障のおそれがあります。	
 必ず実行	**凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に行う** 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅洗面所用

3 取り付け前に

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

●湯ぽっと(TOTO製洗面所用電気温水器)と組み合わせる場合は、電気温水器入口への最低給水圧力が0.1MPa以上必要です。
給水圧力が低いと吐水量が不足し、水の勢いが十分に得られません。

●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

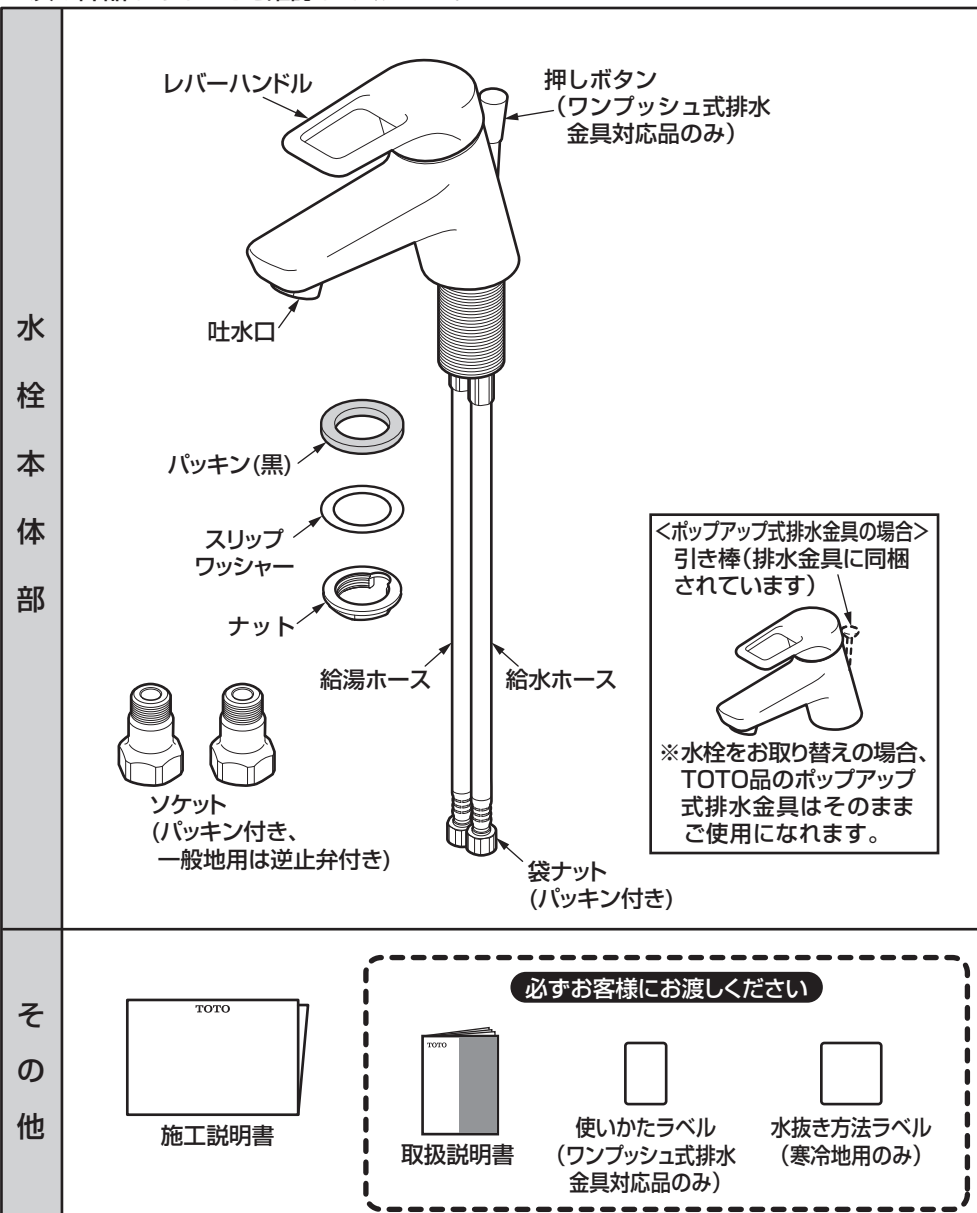
●瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。

●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

●止水栓を取り付けたあと、給水・給湯管内のごみを完全に洗い流してください。内部にごみが詰まり、吐水量が少なくなったり、吐水が乱れたりすることがあります。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

（単位：mm）

360°回転
（吐水口回転タイプの場合）

154（吐水時）
120（止水時）
43
20°
120
24.3
90（排水栓開）
103（排水栓閉）
最大30
（88）
ソケット先端まで（直管時）479
7.5
G1/2

取付穴φ35±2
M32×1.5

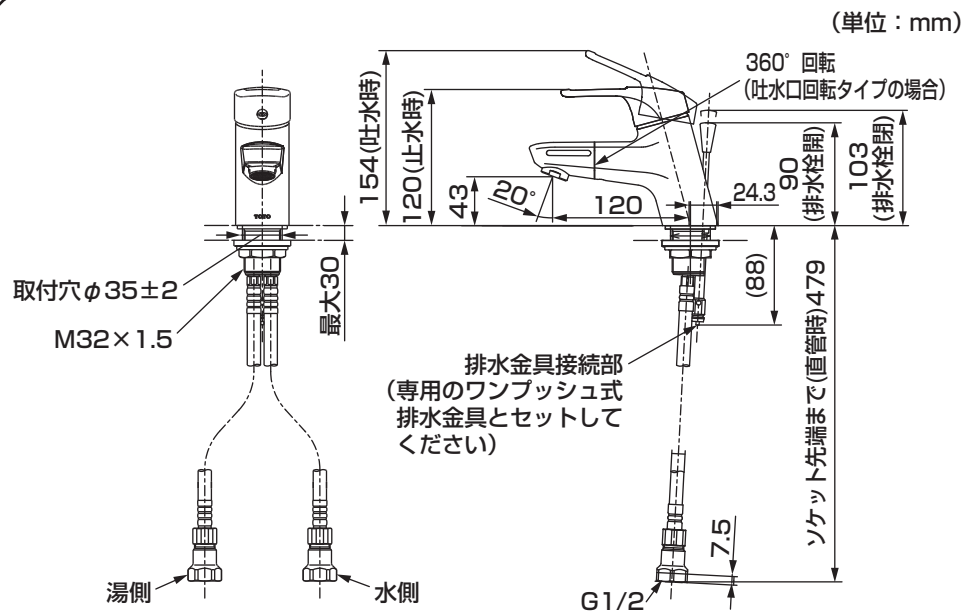
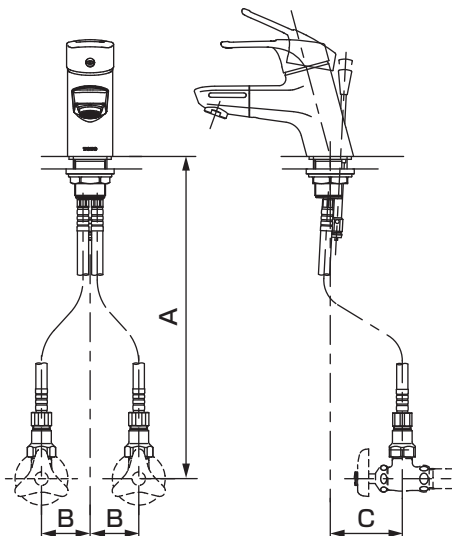
排水金具接続部
（専用のワンプッシュ式排水金具とセットしてください）

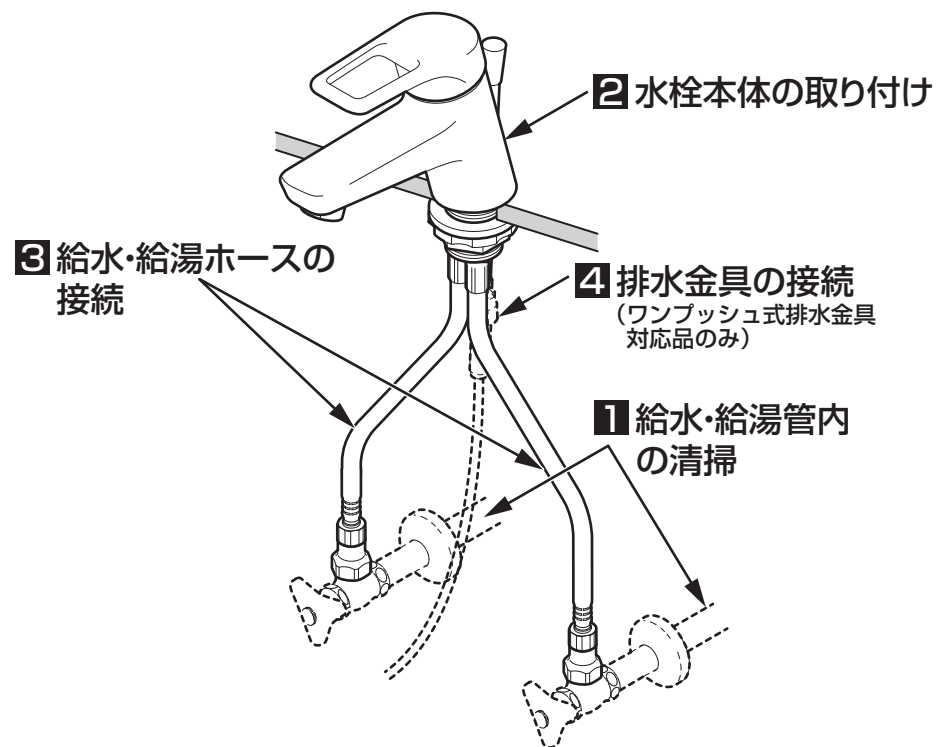
湯側
水側

標準止水栓位置は次のとおりです。

A
B
B
C

<ポップアップ式の場合>

引き棒
押して排水栓「開」
引いて排水栓「閉」
※排水金具に同梱されています。

A	400±10
B	100±10
C	0〜50

6-1 施工手順

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

1 給水・給湯管内の清掃

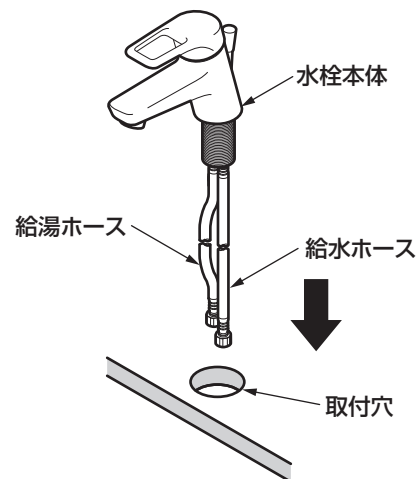
取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

2 水栓本体の取り付け

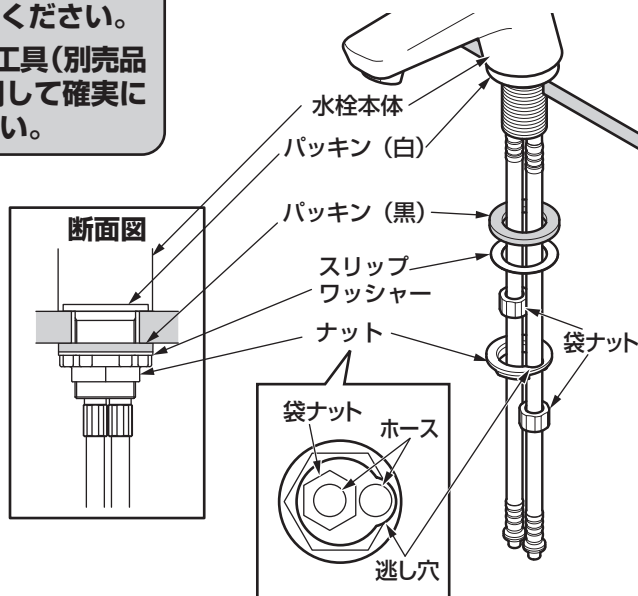
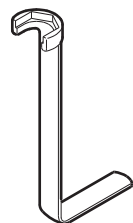
①取付穴周囲の汚れを取る。

②下図のようにパッキン（白）を確認したあと、給水・給湯ホースをカウンターの穴へ差し込む。

③給水・給湯ホースにパッキン（黒）・スリップワッシャー・ナットの順に通す。
袋ナットは、右下図のように逃し穴に給水ホースをあわせ、片側ずつ通す。

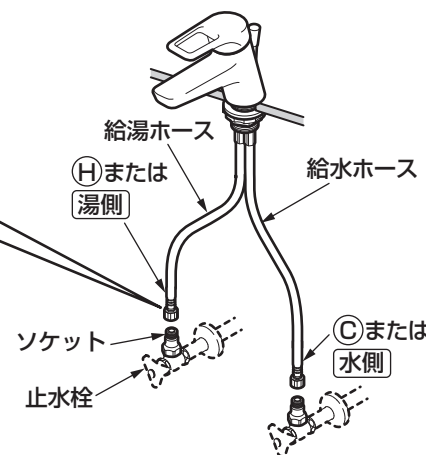
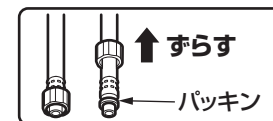
④水栓本体が正面を向くように固定する。

注 意

●水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。

●固定には締付専用工具（別売品：TZ33）を利用して確実に締め付けてください。

3 給水･給湯ホースの接続

①ソケットを止水栓に固定する。

②袋ナットをずらして給水･給湯ホースにパッキンがあることを確認し、ソケットに差し込む。

③給水･給湯ホースをソケットに確実に接続する。

注 意

給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

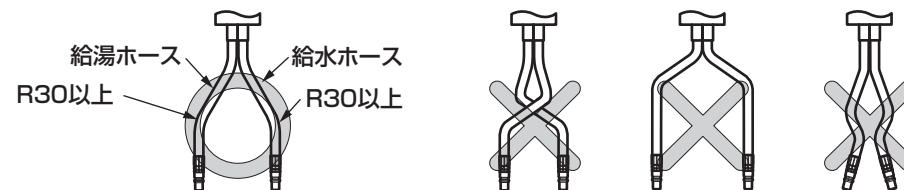
給水･給湯ホース施工上の注意点

●ホースを **必要以上の力で曲げて 折らないように** 注意してください。
ホースの **最小曲げ半径は30mm** です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

●ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。

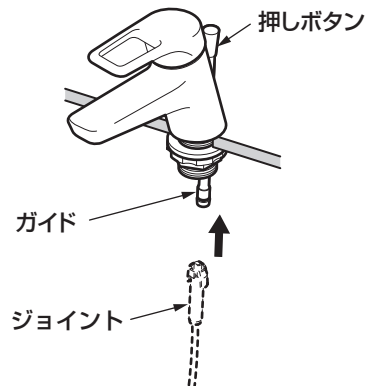
●ホースを **無理に引っ張らないで** ください。ホースが折れる可能性があります。

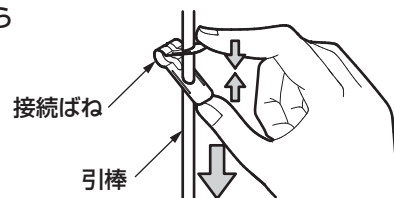
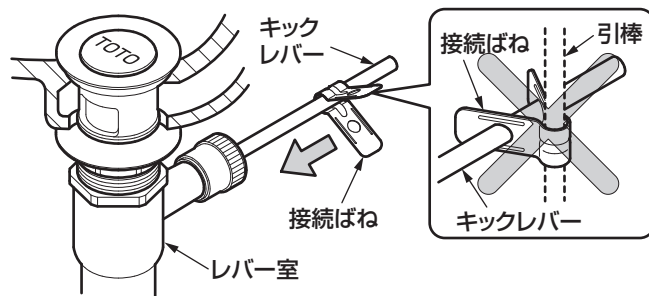
●ホース同士の **不要な接触は避けて** ください。
外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

裏面へつづく

4 排水金具の接続

ワンプッシュ式排水金具の場合

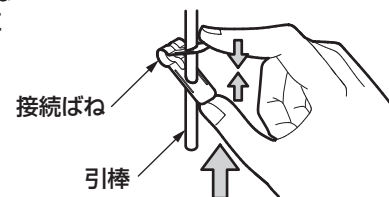
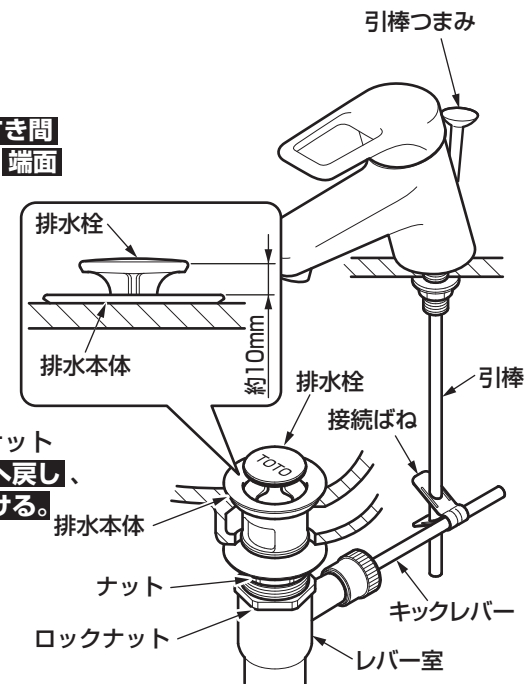
専用排水金具同梱の施工説明書に従い、排水金具を接続する。

※ジョイントの接続は、ワンプッシュ式排水金具対応品のみです。

ポップアップ式排水金具の場合

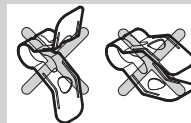
①接続ばねの **端面をつまみながら** 引棒から接続ばねを引き抜く。

②キックレバーに接続ばねを通す。

※キックレバー取り付け時に、給水・給湯管や、後ろの壁と干渉する場合は、レバー室をいったん横に戻し、キックレバー装着後にレバー室を再度締めてください。

③引棒と接続ばねがうまく接続できるようにレバー室の方向を調整しながら、接続ばねの **端面をつまんで** 引棒を接続ばねの穴に通す。

注意

レバー室を回転させるときは、供回りしないようにナットを工具で固定して調節してください。

④引棒を押し下げたとき、**排水栓部のすき間が約10mm** になるように接続ばねの **端面をつまんで** 調節する。

⑤排水栓本体にねじ込んでいるロックナット（つばのないナット）を **レバー室側へ戻し**、レバー室が回転しないように **締め付ける。**

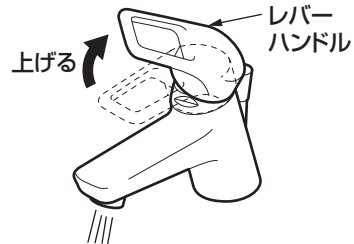
注意

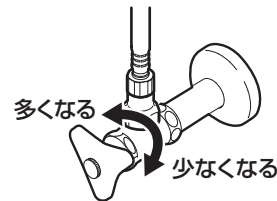
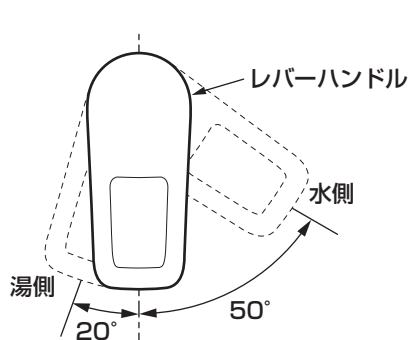
接続ばねを図のように折り曲げないでください。
引棒がずれる原因となります。

取り付け完了後は、引棒を2～3度操作して正常に作動するか確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

施工後の調節

1. 水出し確認

配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。

2. 吐水温度および流量の確認(TL431型)

安全のため、湯側のレバー回転角度を20゜に規制し、ハンドルを湯側いっぱいに回しても湯水が混合される仕様になっています。
現場にて適切な温度になるよう、止水栓を調整してご使用ください。

配管にある止水栓を回す。

※止水栓の調節にマイナスドライバーなどが必要な場合があります。

使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**
お客様に十分にご説明ください。

現　象	説　明
使い始めにくらべて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

9 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

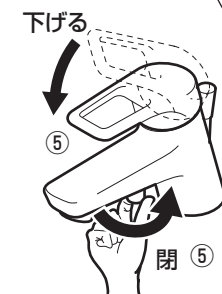
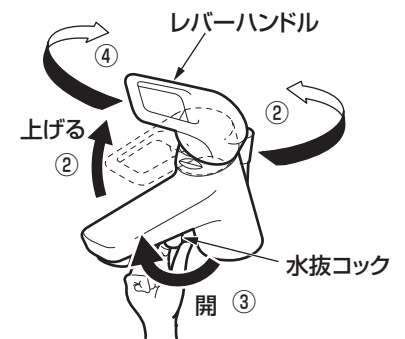
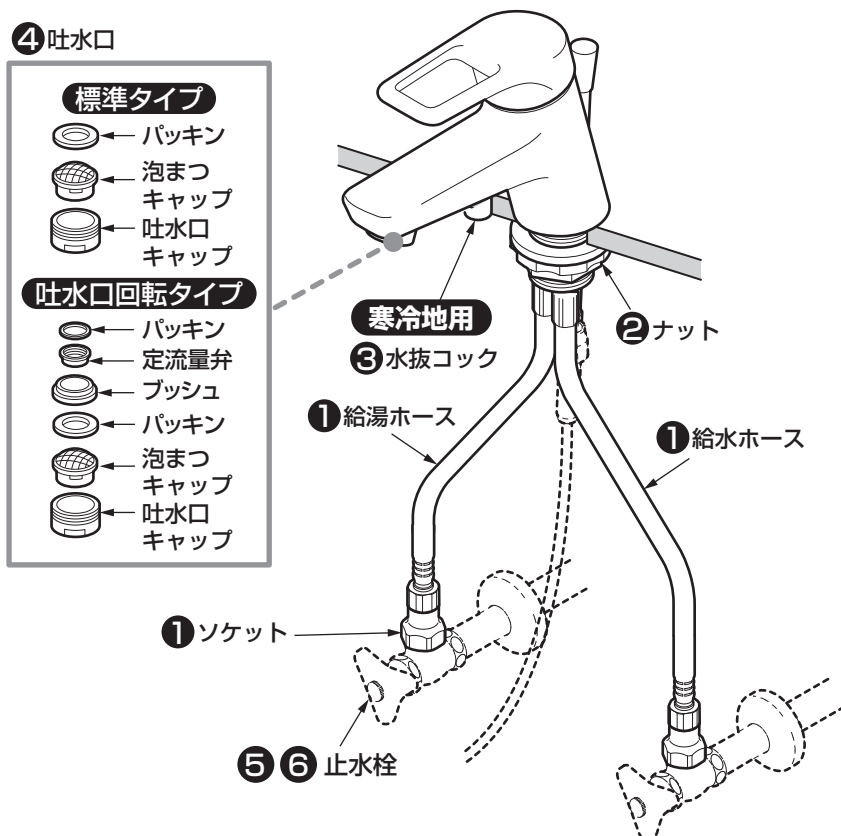
①配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

②レバーハンドルを上げ、右側いっぱいに回す。

③水抜コックを開ける。

④レバーハンドルを上げたまま、左側いっぱいに回す。

⑤水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)

10 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶給水・給湯ホースとソケット、止水栓とソケットはしっかり取り付けられていますか？

→ 6-2 − 3 「給水・給湯ホースの接続」参照

寒冷地用の場合

❸水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

→ 水抜コックを閉める。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❷ナットのゆるみはないですか？

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❹吐水口のごみ詰まりはないですか？

→ 吐水口の掃除をする。

❺止水栓は開いていますか？

❻水の勢いは強くありませんか？

→ 止水栓で流量を調節する。

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。